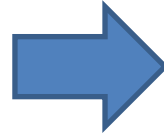
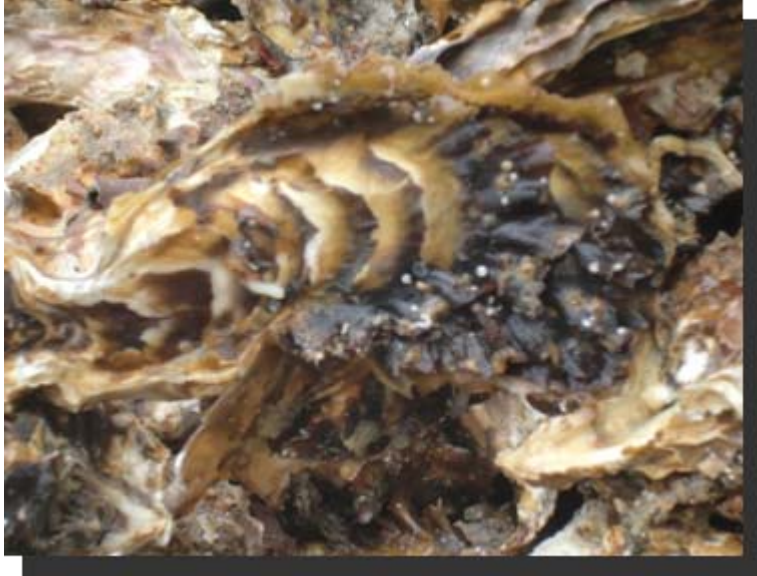


筏からあげたばかりのカキと 再蓄養したカキ



筏からあげたばかりのカキは先端(縁)が伸びている(左図)。薄く壊れやすい縁は、一つずつにばらし、選別・洗浄する工程で喪失し、大きく破損する場合も少なくない。

約1カ月、かごに入れて再び養殖(再蓄養)すると、縁が再生され、身入りの良い丸みを帯びたカキとなる。